

# TNC 通信

2019  
11月号

## 中国古典から

「言に匪(あら)ずんば言うなかれ由に匪ずんば語るなかれ」(『詩経』)

言うべきでない事は云ってはいけない、また理由のない事はみだりに口にすなるといふ、調子に乗る事を戒めている。

## 『街道まつり』でアピール！！

秋晴れの10月6日、富谷市恒例の「富谷町・街道まつり」が、400年の歴史を有する旧街道・新町通・TOMIプラ会場をメインに行われ、大名行列やブラスバンドのパレード、すずめ踊りのほか、本陣ステージでは、踊りや演奏、クイズ大会などでにぎわいました。

富谷市日中でも神社境内に出店しました。今年は肉まん販売をやめ、会員・小野寺さんの「オニオン」のハンバーガーと「味楽」の中華焼きそばを、また会員・高橋さんの「旭家物産店」の協力と松田副会長提供による、中国物産の販売を行いました。場所柄、食事ものが売れず、出張販売するなどして完売する事ができました。応援に駆けつけて下さった、会員の皆様ご協力、大変ありがとうございました。



## 『魯迅文化週』(上海市)に参加して 水戸雄二

台風とその被害の影響で、仙台での魯迅碑前祭は一ヶ月延期となりましたが、上海では晴天のもと虹口区の魯迅公園で行われました。今回主催の「魯迅基金会」(孫の周令飛会長)の招きで江幡名誉会長共々、県協会を代表して諸行事に参加してきました。18日夜に上海到着し、19日午前の「魯迅記念日公祭活動」に参加。魯迅中学校生達の音楽付きの朗読「ある人は」、各界代表のあいさつ、「民族魂」の紅旗を捧げた後、献花を行いました。この後、海派文化センターに移動して子息・周海嬰撮影の写真展(上海展)開幕式と参観でした。

午後からはメインの「魯迅ゆかりの都市」文化対話会に出席しました。仙台からは東北大学・石井光夫教授が「魯迅と東北大学」、私と江幡名誉会長から①「魯迅之碑」での諸行事②「魯迅故居跡」の公園化③「青年魯迅像」の設置、の内容でスピーチしました。また台北市を含む中国各地からのスピーチもあり魯迅の足跡の一端を知る事ができました。

夜には外灘(バンド)近くの宿泊ホテルで交歓会も持たれ、周会長からは小説『孔乙己』発表100年記念限定の紹興酒も振る舞われ、乾杯を交しながら交流を深め合いました。(次号は上海模様を)

